



電子証明書の有効期限が切れた場合

1. 電子証明書の説明
2. 電子証明書の有効期限が切れた場合
3. 電子証明書復旧までの流れ
4. 電子証明書の申請方法
5. 電子証明書申請状況の確認方法
6. 電子証明書取得に関する情報について

1. 電子証明書の説明

オンライン資格確認等システム利用者の正当性を証明します

- 電子証明書の**有効期限は3年3か月**です。
- 電子証明書の**発行、更新**にあたり以下の費用が発生します。

1枚（1台）あたりライセンス料 1,500 円（税込）

「電子証明書の有効期限について」留意点

- ・電子証明書は、セキュリティ対策のため不可欠のもです。有効期限内の更新であれば、オンライン資格確認等システム・オンライン請求システムは切れ目なく利用可能であり、郵送手数料も不要です。
- ・**有効期限切れの場合**は、電子証明書の再設定完了まで、**オンライン資格確認等システム・オンライン請求システムが利用できなくなります。**
- ・有効期限切れ後に電子証明書を申請いただいた場合は「電子証明書発行通知書」を郵送します。そのため、再設定完了までに日数がかかるとともに、**電子証明書発行料1,500円（税込）と郵送手数料として1通当たり753円をご負担いただく必要があります。**

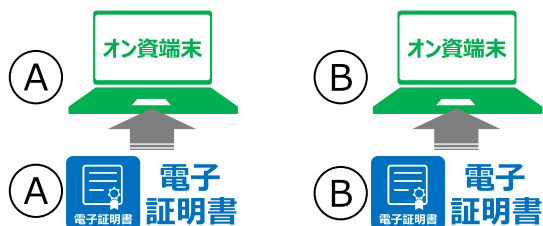
■「電子証明書」の申請



「医療機関等向けポータルサイト」から、「電子証明書発行申請」を行う

※オン資PCの台数分申請が必要

■「電子証明書」の設定



オン資PC1台に対して1つ電子証明書が必要

■「電子証明書発行申請」後



(簡易書留)

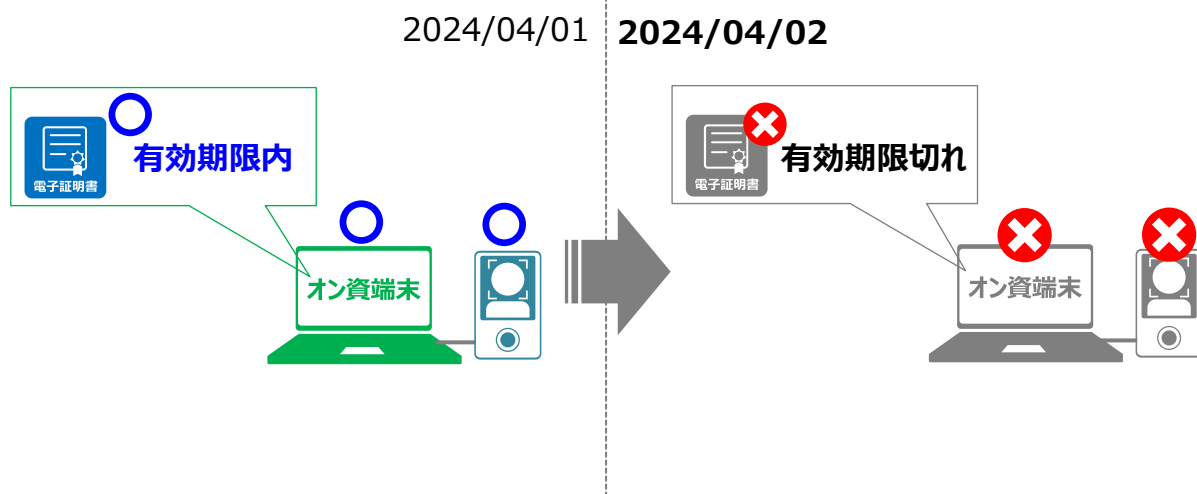
「電子証明書発行申請」後、「電子証明書発行通知書」が簡易書留で届く（約1週間後）

上記通知書に記載のID/パスワードで「電子証明書」をダウンロードし、設定を行う

2. 電子証明書の有効期限が切れた場合

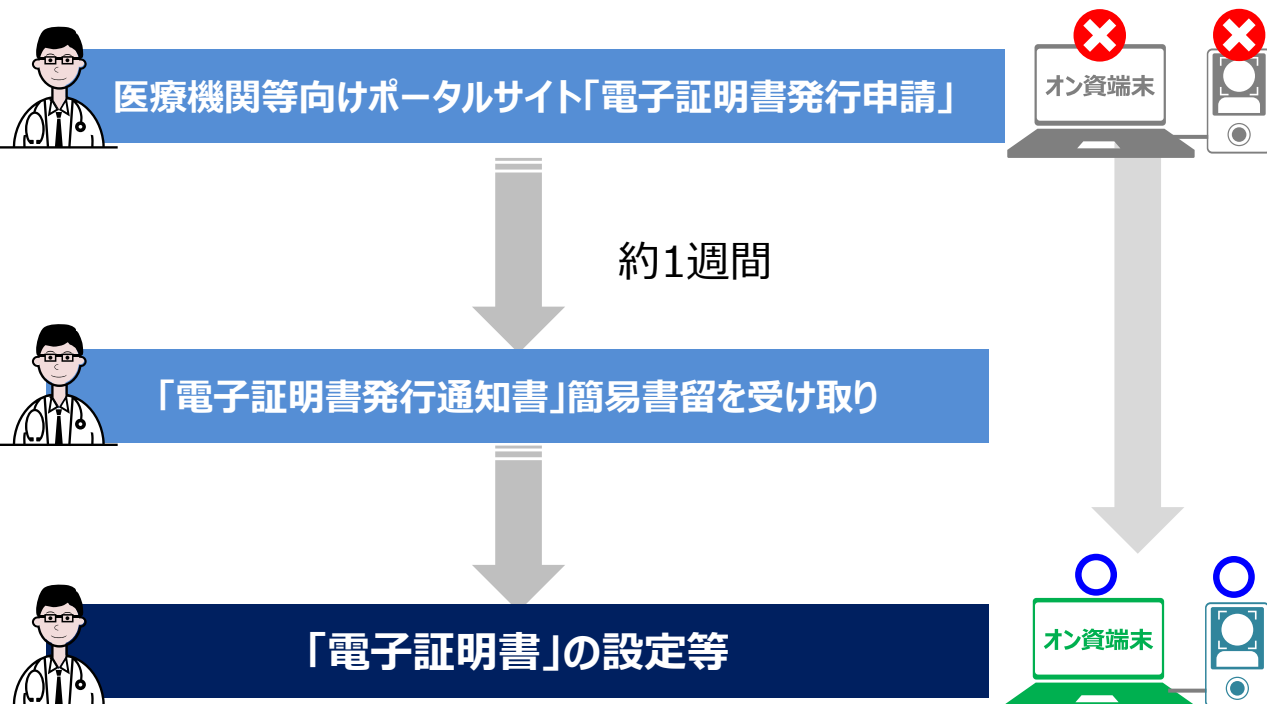
・電子証明書の有効期限が切れた場合は、電子証明書の設定工事完了まで、オンライン資格確認等システム・オンライン請求システムが利用できなくなります。

例
有効期限
2024/04/01



3. 電子証明書復旧までの流れ

・「電子証明書発行申請」と「電子証明書」の設定を実施してください。



・電子証明書発行料1,500円（税込）と郵送手数料として1通当たり753円の料金が発生します。

4. 電子証明書の申請方法

【電子証明書発行申請から発行までの流れ】

オンライン資格確認・医療情報化支援基金関係
医療機関等向けポータルサイト

L『電子証明書発行申請』

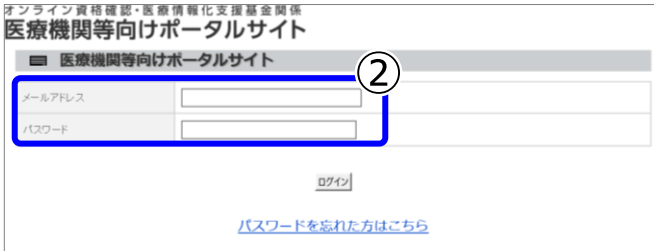
約1週間後



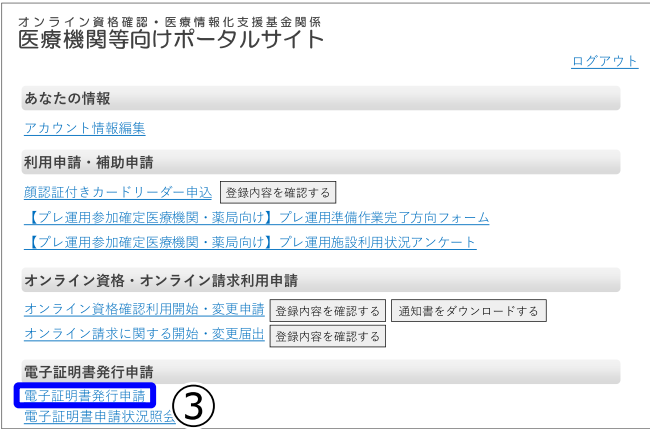
『医療機関等向けポータルサイト』から『電子証明書発行申請』を実施



① 「医療機関等向けポータルサイト」にアクセス



② 「メールアドレス」「パスワード」を入力して「ログイン」



③ 「電子証明発行申請」をクリック

証明書発行申請情報の入力画面（オンライン請求ネットワーク関連システム）

申請前にオンライン請求ネットワーク関連システム共通認証証明書（CP/CPSS）をご確認ください。

オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証証明書（CP/CPSS）のPDFを開く

証明書発行申請情報をすべて入力してください。

分類	1:保険医療機関（医科）
都道府県コード	01:北海道、hokkaido
点数表	1:医療機関（医科）
医療機関コード	0100015
医療機関(薬局)名称	北海道〇〇病院
担当部署/担当者名	資格太郎
電話番号	01x1234567
メールアドレス	〇〇〇@〇〇〇.co.jp
端末名称等	総合受付 端末01

次へ

発行等申請の方法については、手引きをご確認ください。

電子証明書の発行等申請の手引きのPDFを開く

④ 発行申請の手引き（PDF）を確認し情報の選択と入力をしてください。

4. 電子証明書の申請方法 続き

証明書発行申請情報の確認画面

証明書発行申請情報の入力画面（オンライン請求ネットワーク関連システム）

以下の内容で証明書発行申請を送信します。
よろしいれば「申請」ボタンをクリックしてください。
内容に誤りがあれば、「戻る」ボタンをクリックしてください。

分類	1:保険医療機関（医科）
都道府県コード	01:北海道、hokkaido
点数表	1:医療機関（医科）
医療機関コード	0100015
医療機関(薬局)名称	北海道〇〇病院
担当部署/担当者名	資格本部
電話番号	01x1234567
メールアドレス	〇〇@〇〇〇.co.jp
端末名称等	総合受付 端末01

・電子証明書の発行料は、電子証明書の申請後、申請が承認された時点（電子証明書発行日）で発生します。
発行に係る費用は、「オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局用規定（CP/CPS）」をご確認ください。

・電子証明書発行料 1枚あたり 1,500円

・電子証明書のダウンロードには、オンライン請求ネットワークに接続設定をする必要があります。
未設定の場合は、システムベンダー等にご確認の上、設定ください。

⑤

⑤ 発行申請の内容を確認して「申請」をクリック

発行申請成功

証明書はこう申請を送信しました。
ブラウザの閉じるボタン（×ボタン）で終了してください。

⑥

医療機関等向けポータルサイトのマイページに戻る場合は「マイページに戻る」をクリックしてください。

⑥ 「発行申請成功」の画面で申請完了オンライン資格確認端末が複数台ある場合は「続けてもう1枚申請」をクリック

5. 電子証明書申請状況の確認方法

オンライン資格確認・医療情報化支援基金関係
医療機関等向けポータルサイト [ログアウト](#)

あなたの情報
[アカウント情報編集](#)

利用申請・補助申請
[顔認証付きカードリーダー申込](#)
[【プレ運用参加確定医療機関・薬局向け】プレ運用準備作業完了方向フォーラム](#)
[【プレ運用参加確定医療機関・薬局向け】プレ運用施設利用状況アンケート](#)

オンライン資格・オンライン請求利用申請
[オンライン資格確認利用開始・変更申請](#)
[オンライン請求に関する開始・変更届出](#)

電子証明書発行申請
[電子証明書発行申請](#)
[電子証明書申請状況照会](#)

「電子証明書申請状況照会」で申請状況を確認できる画面

申請番号(薬局)名称	1.医療機関コード	2.医療機関申請情報一覧	ステータス	リクエストID	発行日	最終更新日時	ダウンロード有無	操作
1	2021/11/08				2021/11/08	2025/10/08	2025/10/07	詳細・編集 証明書の失効
2	2021/10/28				2021/10/28	2025/10/28	2025/04/28	詳細・編集 証明書の失効

「医療機関等向けポータルサイト」の「電子証明書申請状況照会」から「電子証明書発行申請」後の状況を照会できます。

6. 電子証明書取得に関する情報について

『電子証明書取得に関する情報』

電子証明書取得に関する情報

2024/03/11

サンプル

発行者	Onlien Billing NW Common Root
発行先	1234567890
端末名称	総合受付
電子証明書ダウンロードサイトリクエストID	123456789012345
電子証明書ダウンロードサイリファレンスID	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
電子証明書有効期間	2021/03/10~2024/06/10
電子証明書ダウンロードサイト有効期限	2021/09/06

1台目

発行者	Onlien Billing NW Common Root 〇〇-〇〇
発行先	1234567890
端末名称	総合受付
電子証明書ダウンロードサイトリクエストID	123456789012345
電子証明書ダウンロードサイリファレンスID	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
電子証明書有効期間	2021/03/10~2024/06/10
電子証明書ダウンロードサイト有効期限	2021/09/06

2台目

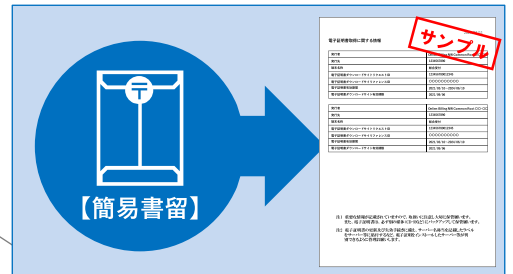
「簡易書留」で郵送されます。

注1 重要な情報が記載されていますので、取扱いに注意し大切に保管願います。
また、電子証明書は、必ず別の媒体(CD-Rなど)にバックアップして保管願います。

注2 電子証明書の更新及び失効手続きに備え、サーバー名称当を記載したラベルをサーバー等に貼付するなど、電子証明書をインストールしたサーバー等が判別できるように管理願います。

「電子証明書発行申請」後
約1週間（2~3営業日）後に電子証明書の取得に必要なIDとパスワードが記載された発行通知書が社会保険診療報酬支払基金の発送代行業者「ネクスウェイ社」から簡易書留で発送されます。

「電子証明」をダウンロードする為に必要な情報が記載されている資料です。



導入するオンライン資格確認端末台数分発行されているが確認をお願いします。
【例】端末 2台の場合



電子証明書の再設定手順書

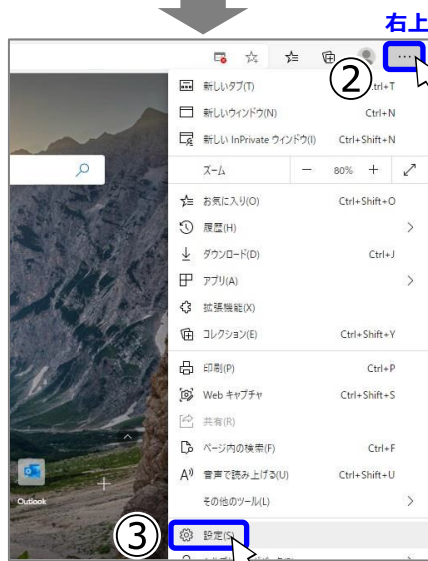
1. 電子証明書の削除手順
2. 電子証明書のダウンロード手順
3. 電子証明書のセットアップ手順
4. 電子証明書の確認手順

1. 電子証明書の削除手順

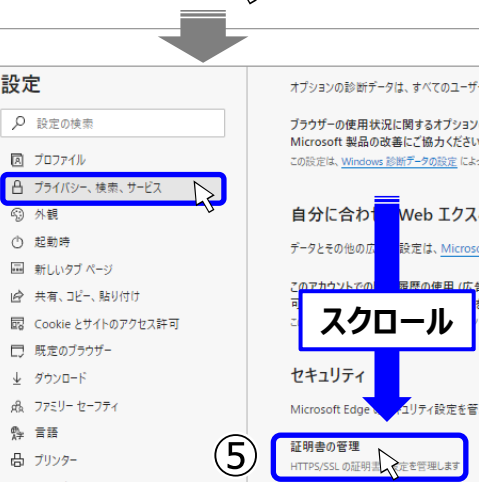
「有効期限切れ」「旧医療機関等コードの電子証明書」
など古い「電子証明書」の削除手順



- ① オンライン資格確認端末のデスクトップ画面にある「Microsoft Edge」をクリックし起動



- ② Microsoft Edge 画面右上のメニューボタン（三つの点）をクリック

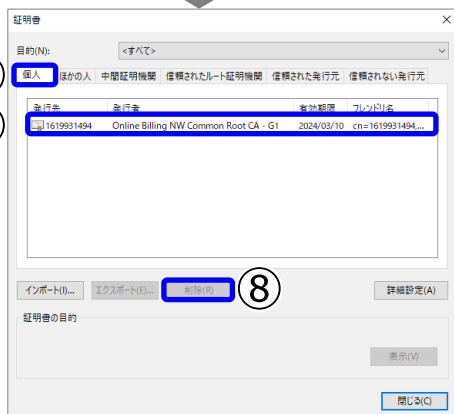


- ③ 「設定」をクリック



- ④ 左側「プライバシー、検索、サービス」をクリック

- ⑤ 右側スクロールし「証明書の管理」をクリック

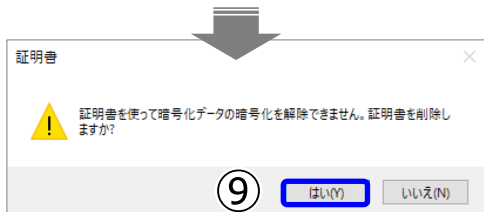


- ⑥ 証明書の「個人」タブをクリック

- ⑦ 「Online Billing NW Common Root CA」が含まれる証明書を選択（1つしか無いです）

- ⑧ 「削除」をクリック

1. 電子証明書の削除手順 続き



⑨ 画面「はい」をクリック



⑩ 証明書が一覧から消えていることを確認

⑪ 「閉じる」をクリック

「電子証明書」が削除されました。

2. 電子証明書のダウンロード手順

1



【電子証明書の取得サイトURL】

<https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/rcd>

アクセス

2

証明書の取得画面

「電子証明書発行通知書」に記載のリクエストIDとリファレンスIDを入力してください。
証明書パスワードは、任意の4桁の半角数字を入力してください。

A リクエスト ID
B リファレンス ID
C 証明書パスワード
証明書パスワード (確認用)
D ダウンロード

証明書パスワードは端末等へ証明書をインストールする際に必要となりますので忘れないようにしてください。
(証明書パスワードを忘れてしまった場合は、もう一度証明書発行申請が必要となりますのでご注意ください。)

簡易書留で送られてきた
「電子証明書取得に関する情報」

電子証明書取得に関する情報 (紙媒体) 2021/03/11

発行者	Online Billing NW Common Root OO-OC
発行先	1234567890
端末名称	総会受付
電子証明書ダウンロードサイトリクエストID	123456789012345
電子証明書ダウンロードサイトリファレンスID	0000000000
電子証明書有効期間	2021/03/10 - 2024/06/10
電子証明書ダウンロードサイト有効期限	2021/09/06

A リクエストIDの「入力」

B リファレンスIDの「入力」

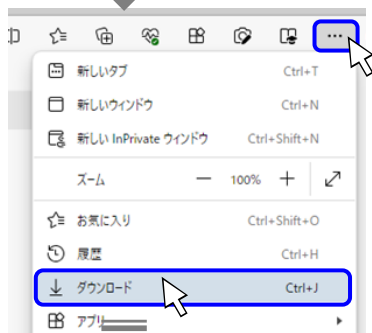
C 証明書パスワードの入力

お客様「4桁の半角数字」

※PCに設定する際に必要なのでお客様の方で管理お願い致します。

D 「ダウンロード」をクリック

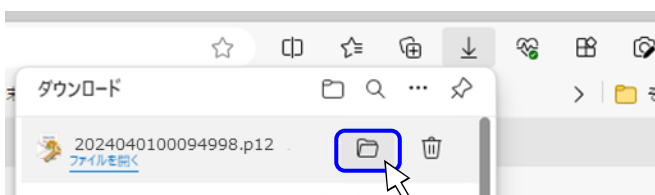
3



Microsoft Edge 画面右上
をクリック

ダウンロード をクリック

4

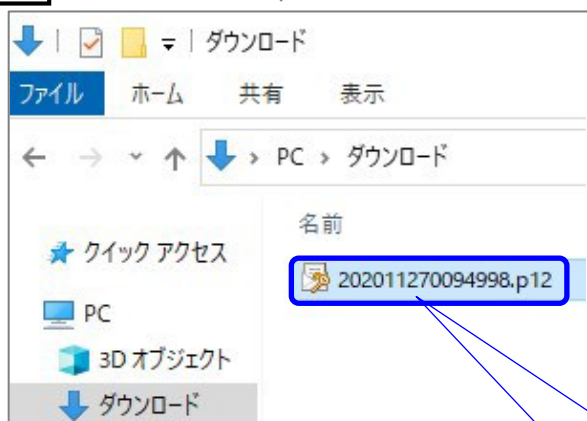


「ダウンロード」ダイアログの表示
一番に表示されてる (数字) .p12 拡張子が
ダウンロードした「電子証明書」になります

「フォルダに表示」をクリック

2. 電子証明書のダウンロード手順 続き

5



ダウンロードした「電子証明書」（数字）.p12拡張子が格納されたフォルダが開きます。

「更新日時」が新しいのがダウンロードした「電子証明書」（数字）.p12拡張子になります。

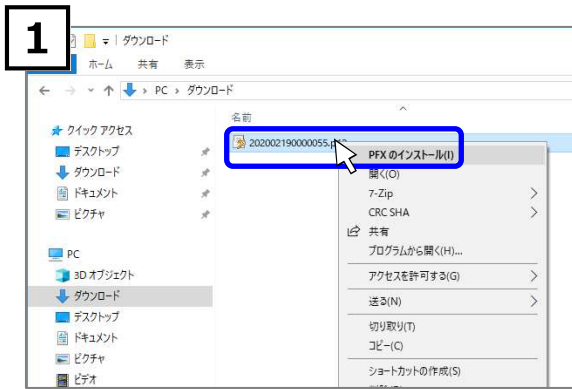
※古い電子証明書があるので間違えないでください。

ダウンロードした「電子証明書」はUSBメモリ等にバックアップを取ってください。バックアップがあればPCが故障交換した時に新しいPCにバックアップした「電子証明書」使用することができます。※バックアップした「電子証明書」の有効期限が切れている場合は使用できません。

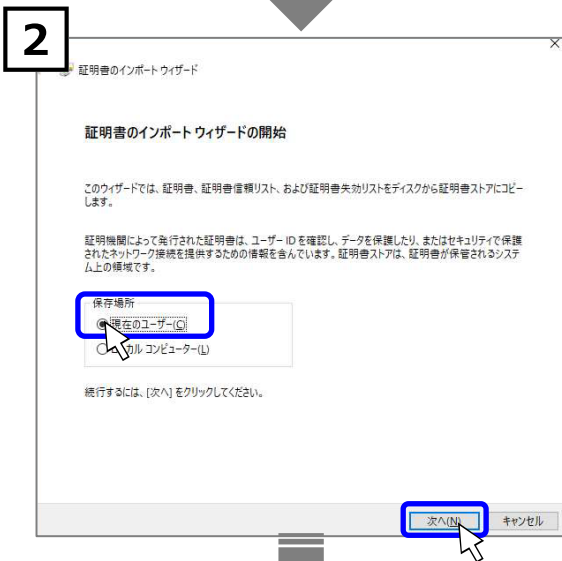
**「電子証明書」のダウンロードは終了です。
そのままの状態での作業へ**

「電子証明書」のセットアップ手順へ

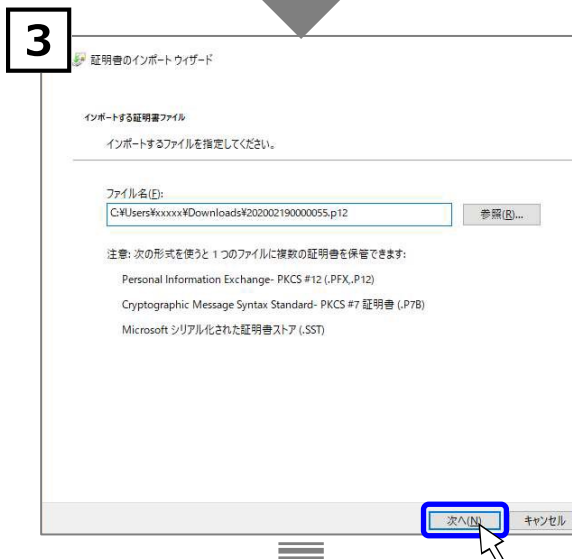
3. 電子証明書のセットアップ手順



電子証明書（数字.p12拡張子）ファイルを**右クリック**し、表示されたメニューから「**PFXのインストール**」をクリック

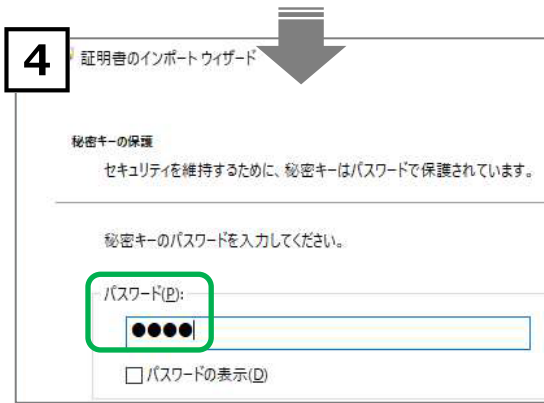


証明書のインポートウィザードが表示されます。保存場所は「**現在のユーザー**」を選択し「**次へ**」をクリック



インポートする証明書ファイルが表示されます。「**次へ**」をクリックします。

3. 電子証明書のセットアップ手順 続き①



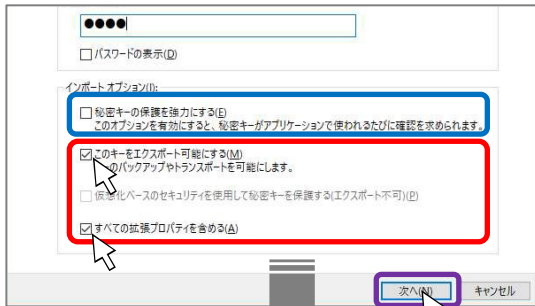
秘密キーの保護の表示

パスワードに電子証明書ダウンロード時に設定した
証明書パスワード「4桁半角数字」
を入力

上のパスワードと同じ画面です。

下の箇所

インポートオプション以下の内容を設定します。



「秘密キーの保護を強力にする」

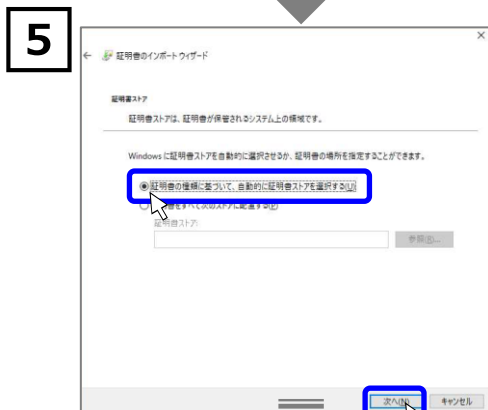
↑ **チェックをしない**

「このキーをエクスポート可能にする」

「すべての拡張プロパティを含める」

↑ **チェックをする**

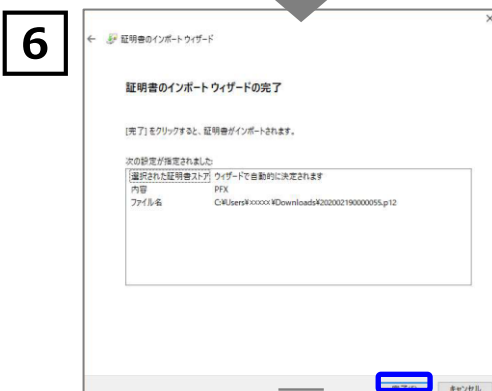
設定後「次へ」をクリックします。



証明書の種類に基づいて

「自動的に証明書ストアを選択する」
を選択

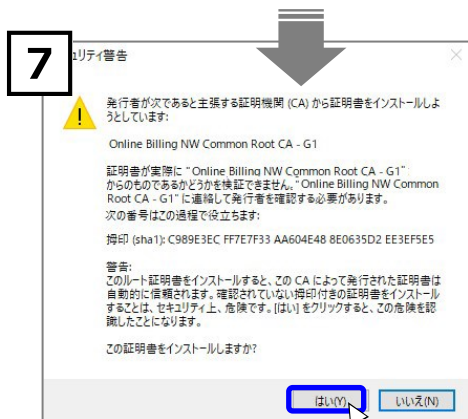
「次へ」をクリック



「証明書のインポートウィザードの完了」の表示

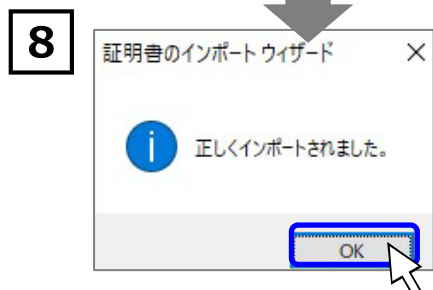
「完了」をクリックします。

3. 電子証明書のセットアップ手順 続き②



セキュリティ警告の表示

※本画面が表示されず正しくインポートされました画面が表示された場合は、次に進んでください。Windowsの信頼されたルート証明機関に証明書発行者（認証局）の証明書を登録するため「はい」をクリックします。



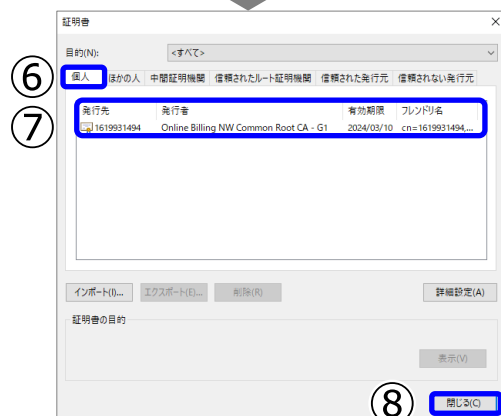
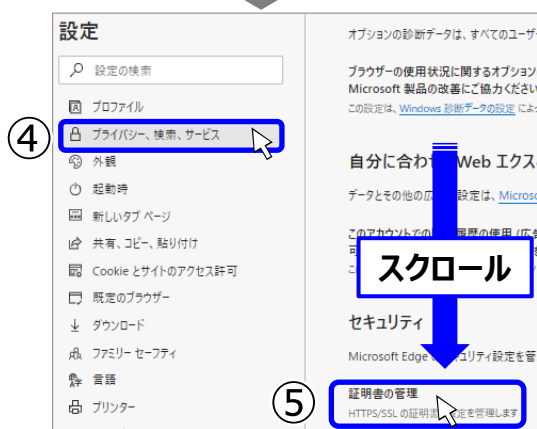
「正しくインポートされました。」の表示

「OK」をクリックします。

「電子証明書」のセットアップが完了しました。

4. 電子証明書の確認手順

設定してある「電子証明書」の確認手順です。





電子証明書の更新手順書 (期限が切れる前に実施する手順)

1. MPKIクライアントツールの説明
2. 電子証明書を更新する前にご確認ください<重要>
3. MPKIクライアントツールからの更新手順
4. 電子証明書のバックアップ手順

1. MPKIクライアントツールの説明

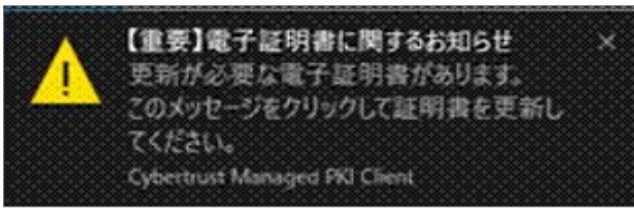
電子証明書をWindowsの証明書ストアに格納、更新や有効期限の【重要】なお知らせをダイアログで知らせてくれるアプリケーションです。

■ オンライン資格確認PCにインストールされているアプリケーションです。



■ 「電子証明書」の有効期限が近くなるとダイアログが表示されます。

ダイアログ



・有効期限のダイアログ表示

有効期限が切れる 90 日前
有効期限が切れる 60 日前
有効期限が切れる 30 日前
有効期限が切れる 15 日前
有効期限が切れる 7 日前から毎日
有効期限が切れた場合

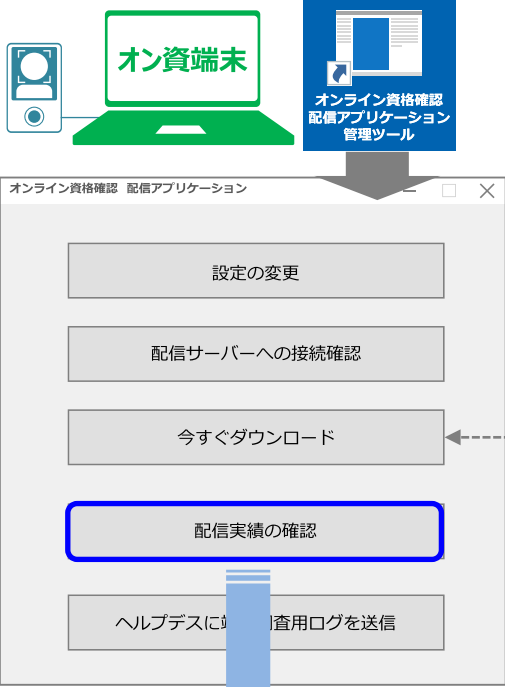
■ MPKIクライアントツールで「電子証明書」を更新した際の更新料金の支払いについて

【更新料】(1,500円税込)

電子証明書を発行(更新)した月の翌々月に、オンライン資格確認利用申請の時の電子証明書発行料の支払方法にて請求を行います。医療機関等向けポータルサイトで確認できます。

電子証明書発行料の支払方法 必須	○1:診療(調剤)報酬支払額から控除 ○2:払込請求書による振込み ※1「診療(調剤)報酬支払額から控除」とは支払基金から医療機関・薬局へお支払する医療報酬・調剤報酬から控除する方法です。(利用者様の別途手続きは不要です。) ※2「払込請求書による振込み」とは、支払基金から送付する「払込請求書」を用いて、利用者様において振込みを行う方法です。(払込手数料は利用者様負担となります。) ※3電子証明書は1枚当たりライセンス料1500円が掛かります。有効期限は発行日から3年3か月です。
----------------------------	--

2. 電子証明書を更新する前にご確認ください<重要>



「MPKIクライアントツール」で「電子証明書」を更新する前にオンライン資格確認PCのデスクトップ画面にある「オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツール」を起動させて「**配信実績の確認**」で顔認証ライブラリの**Versionが2.1.0以降**になっているか確認をお願いします。Versionが2.1.0未満で更新すると「顔認証アプリ」の再設定が必要となります。

メモ帳が起動

```
配信実績 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
[Information]
Status=停止中
MedicalInstitutionCode=99999999
TerminalID=コンピュータ名
LastCheckDate=2099/99/99 00:00:00

[DistributionApp]
Name=配信アプリケーション
Version=X.X.X
UpdateDate=2099/99/99 00:00

[CooperationApp]
Name=連携アプリケーション
Version=X.X.X
UpdateDate=2099/99/99 00:00

[FacialIdentificationLibrary]
Name=顔認証ライブラリ
Version=X.X.X
UpdateDate=2099/99/99 00:00
```

「顔認証ライブラリ」

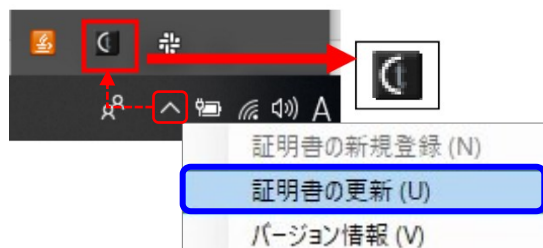
Version = 2.1.0以降

**Versionが2.1.0未満の場合は
「今すぐダウンロード」を実施**

3. MPKIクライアントツールからの更新手順

「MPKIクライアントツール」を使い「電子証明書」の更新、期限切れの電子証明書の削除、設定が可能です。

タスクトレイ



①タスクトレイのアイコンを右クリック
「証明書の更新 (U)」を左クリック

スタートメニュー

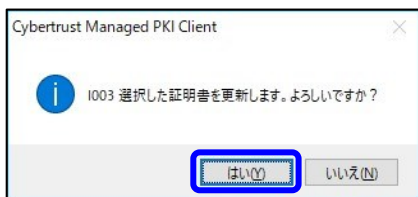


スタートメニューからも確認できます。



②更新する証明書を選択し
下部「証明書更新」を左クリック

※NTT東のオン資PCには「電子証明書」は1つしかありません。



③「はい」を左クリック



④「OK」を左クリック

3. MPKIクライアントツールからの更新手順 続き




Cybertrust Managed PKI Client

1006 更新前の証明書を削除しますか?

はい(Y) いいえ(N)

更新前の証明書（古い）を削除の確認
⑤「はい」を左クリック



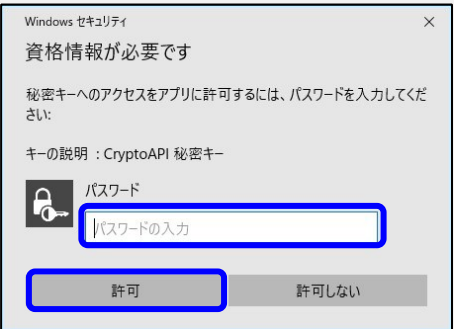
Cybertrust Managed PKI Client

1005 更新前の証明書の削除が完了しました。

OK

⑥「OK」を左クリック

「電子証明書」の更新が完了しました。



Windows セキュリティ

資格情報が必要です

秘密キーへのアクセスをアプリに許可するには、パスワードを入力してください:

キーの説明 : CryptoAPI 秘密キー

パスワード

パスワードの入力

許可 許可しない

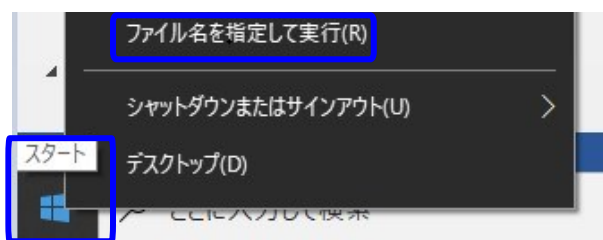
※途中パスワードの入力を求められた場合は
1357 を入力して「許可」を左クリック

4. 電子証明書のバックアップ手順

「電子証明書」のバックアップ手順の説明です。

バックアップを取ることでオンライン資格確認PCが故障した際にバックアップした「電子証明書」を利用できます。バックアップが無い場合は再度「電子証明書発行申請」が必要となりますのでバックアップと管理をお願い致します。

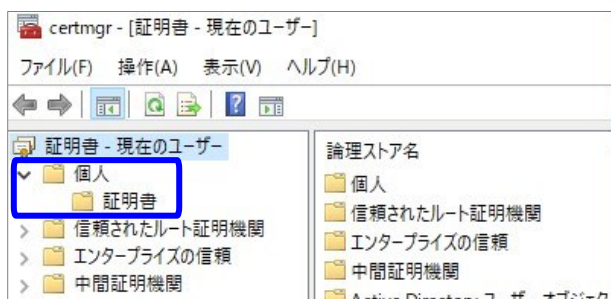
※バックアップした電子証明書でも有効期限が切れている電子証明書はご利用できません。



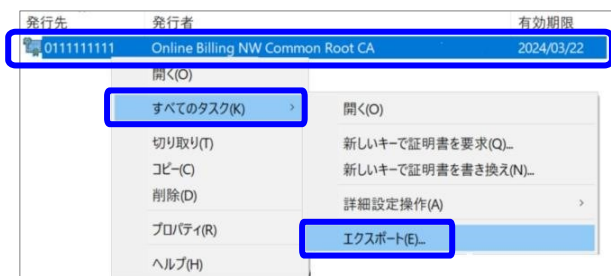
1. 画面の左下のWindowsボタンを右クリックし「ファイル名を指定して実行 (R)」をクリックします。



2. 「certmgr.msc」を入力し「O K」ボタンをクリックします。



3. 「個人」から「証明書」をクリックします。



4. 発行者が「Online Billing NW Common Root CA」の有効期限が切れていない証明書を選択し、右クリック後、「すべてのタスク」-「エクスポート」をクリック。

4. 電子証明書のバックアップ手順 続き①

5. 「次へ」をクリックします。

証明書のエクスポートウィザードの開始

このウィザードでは、証明書、証明書信頼リストおよび証明書失効リストを証明書ストアからディスクにコピーします。

証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

次へ(N) キャンセル

6. 「はい、秘密キーをエクスポートします」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

秘密キーのエクスポート

秘密キーを証明書と一緒にエクスポートすることができます。

秘密キーはパスワードで保護されています。秘密キーを証明書と一緒にエクスポートする場合は、パスワードを入力する必要があります。

証明書と一緒に秘密キーをエクスポートしますか？

はい、秘密キーをエクスポートします(Y)

いいえ、秘密キーをエクスポートしません(N)

次へ(N) キャンセル

7. 「Personal Information Exchange - PKCS #12 (.PFX)」を選択し、「証明のパスにある証明書を可能であればすべて含む」と「証明書のプライバシーを有効にする」にチェックを入れて「次へ」ボタンをクリックします。

エクスポートファイルの形式

さまざまなファイル形式で証明書をエクスポートできます。

使用する形式を選択してください。

DER encoded binary X.509 (.CER)

Base 64 encoded X.509 (.CER)

Cryptographic Message Syntax Standard - PKCS #7 証明書 (.P7B)

証明のパスにある証明書を可能であればすべて含む

Personal Information Exchange - PKCS #12 (.PFX)

証明のパスにある証明書を可能であればすべて含む

正しくエクスポートされたときは秘密キーを削除する

すべての拡張プロパティをエクスポートする

証明書のプライバシーを有効にする

Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)

次へ(N) キャンセル

4. 電子証明書のバックアップ手順 続き②

8. 「パスワード」と「パスワードの確認」を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

パスワード : 1357

または

お客様「4桁の半角数字」

※PCに設定する際に必要なのでお客様の方で管理お願い致します。

証明書のエクスポートウィザード

セキュリティ

セキュリティを維持するために、セキュリティプリンシパルで秘密キーを保護するかパスワードを使用しなければなりません。

グループまたはユーザー名 (推奨) (G)

パスワード (P): ●●●●

パスワードの確認 (C): ●●●●

暗号化: TripleDES-SHA1

次へ (N) キャンセル

9. 「参照」ボタンをクリックして、証明書をバックアップするフォルダを選択、ファイル名を入力し「保存」

「次へ」をクリックします。

【例】

参照先 : 「ダウンロード」フォルダを選択
ファイル名 : オン資PC_更新後の電子証明書_受付01

証明書のエクスポートウィザード

エクスポートするファイル

エクスポートするファイルの名前を入力してください

ファイル名 (F): C:\Users\paku\Desktop\更新後の証明書.pfx

参照 (B)...

次へ (N) キャンセル

10. 「完了」ボタンをクリックします。「正しくエクスポートされました。」が表示され「OK」をクリックします。

証明書のエクスポートウィザード

証明書のエクスポートウィザードの完了

証明書のエクスポートウィザードが正常に完了しました。

次の設定が指定されました

ファイル名	C:\Users\paku\Desktop\更新後の証明書.pfx
キーのエクスポート	はい
証明のパスにあるすべての証明書を含める	はい
ファイルの形式	Personal Information System (PFX)

完了 (F) キャンセル

証明書のエクスポートウィザード

正しくエクスポートされました。

OK

4. 電子証明書のバックアップ手順 続き③

USBメモリ等の外部媒体に更新後の電子証明書 (.pfx) を格納して大切に保管してください。

【例】
「ダウンロード」フォルダにある拡張子.pfx   USBメモリ等

ファイル名 : オン資PC_更新後の電子証明書_受付01.pfx

「電子証明書」のバックアップが完了しました。